



▲指定管理で日々運営されている中央公民館

業務管理運営は

答 弁 = 特に問題はない

佐伯統括



緑生会
松本 かをり

平成18年度より3カ年間の中央公民館を検証。
問 19年度施工の空調設備改修による変更契約は。
答 18年度比較では20年度分で電気料増、灯油代などゼロ。差引約182万円を、町に返還。

問 19年度も同様に計算すると、約256万円となるが。
答 管理運営実績表で確認。灯油代などは、支出ゼロだが、指定管理者と協議の結果、20年度分で積算と決定。
問 19年度ごとびき大学収入は約8万円であるが、160人の入学金は。
答 入学金80万円は、経理上の誤りで、20年度収入として計上。
問 NPO法人に関わる業者が販売者名にあるが。
答 備品購入に際し、あまり好ましくない旨を指導した。
問 19年度、料理室全体をNPO法人が改修、町がすべき事業では、また、指定管理料の内でも自由に使えるとしたら、議会のチェックが果たせなく、制度上、財務上に問題はないのか。
答 料理室の改修事業は、町がすべきだったかも知れないが、NPO法人が工夫して施工、特に問題はない。

「子どもの権利条例」制定を

答 弁 = 施策の充実に努める

町長



新政ネットワーク
渡辺 文子



▲12月10日は「人権デー」です

問 子どもの権利条約が国連で採択されて20年経ち、町の取り組み状況を伺う。
答 町でも「子どもの権利条例」制定を。
問 施策充実に努める。
答 「次世代育成支援行動計画」との関連は。

問 子どもの権利を尊重する地域づくりを掲げ、意識啓発を行っている。
答 学校の取り組み内容は、全教育活動に位置づけた人権教育指導計画を作成し推進している。
問 今後の課題は。
答 授業参観、オープンスクールを活用し、親子や地域で考える機会を増やす。
問 検討委員会で出された課題、問題点は。
答 施設や運営・運搬方法、給食時間の延長など。
問 アレルギーショックを起したときは。
答 対応策を検討している。
問 成長の格差や摂食力ロリーの違いへの対応は。
答 米飯や汁物などで量の調整は可能。
問 その他の質問
答 住民自治に向けて住民参加による住民基本条例制定について

北小跡地利用と処分は

答 弁 = 町より北小を無償提供

三村理事



緑生会
河野 照代



▲全住民が自由使用という県の交流センター

問 (旧)播磨北小学校跡地施設の県への譲渡は有償が常識と思うが、いつ、無償となり、それは町側からの申し出か。
答 昨年6月に兵庫県教育委員会との契約において、新たに造る困難性も

あり、教育面の効果も考え、町より無償とした。
問 平成22年4月開設予定の「(仮)東はりま交流支援センター」は所有権及び使用権は町か県か。
答 施設全体を町で使えるが、所有権は県である。
問 全体が、本主に住民の誰もが自由に使える施設なのか。
答 管理規則の制約に則り、(旧)播磨北小施設運営協議会と協議の上、施設使用においては自由に使えるようにする。
問 結局は、利用者が使用料を払い、県に使わせてもらう施設か。
答 現在、運営協議会で検討を進めている。光熱水費は受益者負担の考えから、町側の負担を予定。
問 (旧)播磨北小学校卒業生のメモリアルルームがなく、説明では、一部壁面にスペースのみあるが、その旨を卒業生に知らせているか。
答 PTA正副会長(当時)には知らせている。

問 19年度も同様に計算すると、約256万円となるが。
答 管理運営実績表で確認。灯油代などは、支出ゼロだが、指定管理者と協議の結果、20年度分で積算と決定。
問 19年度ごとびき大学収入は約8万円であるが、160人の入学金は。
答 入学金80万円は、経理上の誤りで、20年度収入として計上。
問 NPO法人に関わる業者が販売者名にあるが。
答 備品購入に際し、あまり好ましくない旨を指導した。
問 19年度、料理室全体をNPO法人が改修、町がすべき事業では、また、指定管理料の内でも自由に使えるとしたら、議会のチェックが果たせなく、制度上、財務上に問題はないのか。
答 料理室の改修事業は、町がすべきだったかも知れないが、NPO法人が工夫して施工、特に問題はない。

(旧)北小運営協議会活動は

答 弁 = 将来は発展的解散へ

三村理事



公明党代表
宮尾 尚子



▲代表者氏名を記載してほしいパンフレット

問 (旧)播磨北小学校はいつの間にか特別支援学校となってしまった。この名前を使用している運営協議会は、要綱に逸脱しているのではないのか。
答 40ほどある要綱の中で町長が委嘱していない

協議会はこれしかない。
答 これから町がすべて委嘱をすべきか考える必要がある。
問 きちんとした協議会要綱が最初から出来ていないので、瑕疵がある。
答 多くの住民参加を目的としているので、ご理解願いたい。
問 このままこのグループが交流センターの運営にスライドするのか。
答 施設が完成すれば発展的解散になるが、今後この方々を中心の活動になる。
問 現在の進行状況は。
答 具体的な実施計画を策定する必要があり、4回目の委員会を開く予定。
問 アレルギー対策は。
答 個々の状況により担当持参や食材に考慮する。
問 町の財政事情を考えると実施時期はいつごろになるのか。
答 出来ることなら22年度中に実施したい。

問 子どもの権利を尊重する地域づくりを掲げ、意識啓発を行っている。
答 学校の取り組み内容は、全教育活動に位置づけた人権教育指導計画を作成し推進している。
問 今後の課題は。
答 授業参観、オープンスクールを活用し、親子や地域で考える機会を増やす。
問 検討委員会で出された課題、問題点は。
答 施設や運営・運搬方法、給食時間の延長など。
問 アレルギーショックを起したときは。
答 対応策を検討している。
問 成長の格差や摂食力ロリーの違いへの対応は。
答 米飯や汁物などで量の調整は可能。
問 その他の質問
答 住民自治に向けて住民参加による住民基本条例制定について

問 子どもの権利を尊重する地域づくりを掲げ、意識啓発を行っている。
答 学校の取り組み内容は、全教育活動に位置づけた人権教育指導計画を作成し推進している。
問 今後の課題は。
答 授業参観、オープンスクールを活用し、親子や地域で考える機会を増やす。
問 検討委員会で出された課題、問題点は。
答 施設や運営・運搬方法、給食時間の延長など。
問 アレルギーショックを起したときは。
答 対応策を検討している。
問 成長の格差や摂食力ロリーの違いへの対応は。
答 米飯や汁物などで量の調整は可能。
問 その他の質問
答 住民自治に向けて住民参加による住民基本条例制定について